

# 食道癌に対して化学療法、重粒子線治療、手術を組み合わせた治療を受

## けられた皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、食道癌化学療法、併用術前炭素線治療（重粒子線治療）を行いました。その安全性や有効性については、今後も検討が必要な状態です。そこで、手術を行った千葉大学医学部附属病院と共同で化学療法、炭素線治療、手術を組み合わせた治療の安全性と有効性について検討を行います。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

〔研究課題名〕 Stagell、Ⅲ食道癌に対する化学療法、炭素線治療、手術を用いた集学的治療に関する解析

〔研究実施期間〕 許可日～2025年03月31日

〔研究機関及びその長の名前〕

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院（病院長 石川 仁）

千葉大学医学部 （医学部長：松原 久裕）

〔研究代表者〕 磯崎 哲朗（量子科学技術研究開発機構 QST病院）

〔研究責任者〕 松原 久裕（千葉大学医学部先端応用外科学、千葉大学医学部附属病院食道胃腸外科）

〔研究の目的〕 化学療法、炭素線治療、手術を組み合わせた治療を受けられた方の治療効果や有害事象、安全性を遡って解析し、炭素線治療を用いた集学的治療の有用性と安全性について調査します。

〔研究の方法〕

### ●対象となる方々

2012年6月から2022年8月までにQST病院（旧 放射線医学総合研究所病院/重粒子医科学センター病院）で食道癌化学療法併用術前重粒子線治療を受けた方で、その後千葉大学医学部附属病院で手術を受けた方。

### ●利用する情報

診断名、年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、原発病変の部位・治療方法・病理組織学的検査、採血データ、予後、副作用、内視鏡画像、CT・MRI・PET・治療計画等の画像、手術時の映像、手術所見、切除標本写真、術後経過

※QST病院と千葉大学医学部附属病院で得られた情報は個人が特定できないようにして抽出を行います。

収集したデータは、パスワードをかけるなど安全管理に配慮した上でクラウドや郵送等の方法により共有して、研究を実施します。この情報とは別に対応表を作成し共有することでQST病院と千葉大学医学部附属病院のデータが組み合わせできるようにします。

※新たな質問や検査はありません。

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととしま

す。（個人情報保護法及び各研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023年2月までに下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。なお、上記期限を過ぎた後でもいつでもお申し出いただけますが、データ解析に使用して個人情報と切り離されてしまった診療情報は取り除けないことがあります。

[問い合わせ先：窓口]

① 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 治療診断部頭頸部胸部腫瘍課  
磯崎 哲朗 電話；043-206-3306（平日；8：30 ～ 17：00）

②千葉県千葉市中央区玄鼻1-8-1

千葉大学医学部 先端応用外科学 村上健太郎  
電話；043-226-2109（平日；8：30 ～ 17：00）